

福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 11 月 22 日
東京電力株式会社

<タービン建屋地下のたまり水の処理>

高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

[処理設備]

- ・6/17 20:00 放射性物質除去装置の本格運転を開始。
- ・6/24 12:00 淡水化装置(逆浸透膜型)における処理を開始。
- ・6/27 16:20 循環注水冷却を開始。
- ・8/7 16:11 蒸発濃縮装置の本格運用を開始。
- ・8/19 19:33 第二セシウム吸着装置(B系ライン)を起動し、セシウム吸着装置および除染装置との並列運転によるたまり水の処理を開始。19:41 定常流量に到達。
- ・11/21 大熊線3号線移動用(車載)変圧器より受電している負荷の電源切り替えのため、稼働中の水処理設備の各装置[セシウム吸着装置、第二セシウム吸着装置、淡水化装置(逆浸透膜型)、蒸発濃縮装置]など関連設備を、5:00 から順次停止。なお、原子炉注水はタンク内の淡水化処理した水により継続実施することから影響なし。14:06、大熊線2号線への電源切り替えを完了。その後、順次関連設備の運転を再開し、23:50 に停止していた全ての設備の運転を再開。

10/3 15:00 頃に油の漏えいが確認された大熊線3号線移動用(車載)変圧器B系の油冷却器について、資機材が整ったため、11/22 より変圧器の油冷却器の交換作業を行うために事前に電源切り替えを実施するもの。

[貯蔵設備]

- ・6/8 ~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付中。

トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋	集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・11/10 9:10 ~ 移送実施中
3号機	・3号機タービン建屋	集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋]	・11/15 9:25 ~ 移送実施中
6号機	・6号機タービン建屋	仮設タンク	・11/22 移送予定なし

移送先	移送先の水位状況 (11/22 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 1,782 mm(水位上昇累計: 2,999 mm) 11/21 7:00 から 81 mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 2,012 mm(水位上昇累計: 2,738 mm) 11/21 7:00 から 139 mm 上昇

トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (11/22 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P. <+ 850 mm (11/21 7:00 と同じ)	O.P.+ 3,772 mm (11/21 7:00 から 34 mm 上昇)	O.P.+ 4,292 mm (11/21 7:00 から 53 mm 下降)
2号機	O.P.+ 3,053 mm (11/21 7:00 から 19 mm 下降)	O.P.+ 3,065 mm (11/21 7:00 から 18 mm 下降)	O.P.+ 3,173 mm (11/21 7:00 から 15 mm 下降)
3号機	O.P.+ 3,261 mm (11/21 7:00 から 5 mm 上昇)	O.P.+ 3,035 mm (11/21 7:00 から 18 mm 上昇)	O.P.+ 3,240 mm (11/21 7:00 から 15 mm 上昇)
4号機	-	O.P.+ 3,042 mm (11/21 7:00 から 17 mm 上昇)	O.P.+ 3,055 mm (11/21 7:00 から 4 mm 下降)

- [3号機]・11/21 10:22 ~ 復水貯蔵タンクからタービン建屋地下への溜まり水の移送を開始。

<放射性物質のモニタリング>

海水核種分析結果(参考値) 10/24 採取分より、放射能濃度の検出限界値を下げる取り組みを開始。

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5,6 号機放水口北側約 30m	11/21	8:50	ND	0.06	0.05
福島第一 1~4 号機放水口南側約 330m	11/21	8:30	ND	0.03	0.02
福島第二 3,4 号機放水口付近	11/21	8:20	ND	0.02	ND
福島第二 1,2 号機放水口南側約 7km	11/21	7:55	ND	0.02	0.01

<使用済燃料プールの冷却> (11/22 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中(8/10 11:22~)	18.0
2号機	循環冷却システム	運転中(5/31 17:21~)	20.0
3号機	循環冷却システム	運転中(6/30 18:33~)	19.5
4号機	循環冷却システム	運転中(7/31 10:08~)	26

[2号機]・11/6~ 使用済燃料プール放射性物質除去装置の運転を開始。

[6号機]・11/15~ 取水路ポンプ室底部に堆積した砂等の吸い込みによるポンプ性能低下の防止を目的とした清掃作業に伴い、6号機残留熱除去系(A)ポンプを停止し、原子炉の冷却を停止。6号機補機冷却海水系(A)ポンプを停止し、使用済燃料プールの冷却を停止。なお、冷却停止予定時間は毎日7:00~17:00頃で、1日あたりの6号機原子炉水温度の上昇は約12℃、使用済燃料プール水温度の上昇は約3℃の見込み(作業期間は1週間程度を予定)。

<原子炉圧力容器への注入・原子炉の状況> (11/22 11:00 時点)

号機	注入状況	給水ノズル温度	原子炉圧力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約5.5 m ³ /h)	38.2	39.4	118.4 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約2.9 m ³ /h, 炉心スプレイ系:約7.1 m ³ /h)	64.3	66.6	108 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約2.3 m ³ /h, 炉心スプレイ系:約8.2 m ³ /h)	57.9	66.7	101.5 kPaabs

[1号機]・11/22 9:30~10:20 非常用高台原子炉注水ポンプ吸込側耐圧ホースの交換作業を実施。なお、原子炉注水は、常用注水ラインで実施しているため、当該作業による影響なし。
11/18に確認した当該ホース接続部からの水漏れへの改修作業として対応するもの。

[4号機][5号機][6号機] 特に変化なし。

<その他>

- ・10/7~ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5,6号機滞留水浄化の水を利用し、散水を継続実施中。
- ・11/22 9:30~13:16 無人調査船による福島第一原子力発電所の前面海域(15km 圏内)における海域モニタリングを実施。
- ・11/22 11:35~13:45 2号機原子炉格納容器ガス管理システムにおいてサンプリング作業を実施。

以上